



菱沼あゆ美 議員（公明党）

窓口における 難聴者への聴こえの支援を

答弁…導入に向けた調査・研究を行っていく

問 窓口では相談内容に個人情報が含まれる場合があり、周囲に聞こえないような配慮が必要となる。しかし、難聴者へは大きな声での対応になりがちである。小さな声でもよく聴き取れる軟骨伝導イヤホンを、意思疎通支援として設置してはどうか。

答 同イヤホンの活用は、窓口での聞こえづらさの解消等、一定の効果が期待されており、他の自治体で試験的に導入されていることを確認している。今後は、公共施設の窓口での必要性等を確認し、他のデジタル機器等と併せ、導入に向けた調査・研究を行っていく。



窓口で使用する軟骨伝導イヤホン

防災 大雨・豪雨による 水害への更なる備えを

答弁…防災意識の醸成と防災力の向上を図る

問 水害リスクがある地域に、浸水想定の水深を線で表示をすることで、見えるハザードマップとしての効果がある。設置すべきと考えるが、どうか。また、いざという時に助言や情報提供ができる専門家として、気象防災アドバイザーを活用してはどうか。

答 大雨等による水害の際に想定される浸水の深さを表示するなどハザードマップの見える化を検討するとともに、ハザードマップの活用について広報しらおか等により周知していく。また、防災力の向上を図るため、気象防災アドバイザーの活用も検討していく。



嶋田友一郎 議員（白和）

災害時に活用できる 公園の整備を

答弁…公園への防災機能の付加を検討していく

問 大規模災害により生活インフラが利用できなくなった場合などには、市内指定避難所の収容超過が予想される。貯水槽や消火・雑用水利設備、災害用トイレ、発電設備、かまどベンチ等を備えた防災用途に活用可能な公園の整備を進めてはどうか。

答 公園は市内の各所にあり、災害から市民を守る身近な避難場所であるとともに、地域での共助の拠点としての活用も期待できる。今後、公園施設の整備や改修等の機会を捉え、防災機能を付加できるよう総合振興計画など上位計画への位置付けも含め検討していく。



災害時の炊き出しに使用可能な「かまどベンチ」(久喜市菖蒲運動公園)

教育 教育環境向上への附帯決議の 実施状況は

答弁…適正計画等を踏まえ検討し対応する

問 3月定例会では、大山小学校廃校の内容を含む市立学校設置条例の改正に伴い、「きめ細やかな意見収集と情報提供に努めること」「教育環境の改善を図ること」等の項目を含んだ附帯決議を議決した。それらの実施・取組状況はどうか。

答 両校の保護者等に対し、情報提供や意見収集を進めている。教育環境の改善については西小学校校長と協議を実施しており、今後の児童数推移や学校適正規模・適正配置等に係る計画との関係も踏まえ検討し対応する。また、その他の項目への対応も進めている。

※雑用水とは、水洗トイレ用水や散水、清掃用水など、飲用水より低いレベルの水質でも差し支えない用途の水のこと。